

オーストラリア主導による「核兵器の人道的結末に関する共同ステートメント」(仮訳)

- 1 オーストラリア, ベルギー, カナダ, フィンランド, ドイツ, ハンガリー, イタリア, 日本, ラトビア, リトアニア, ルクセンブルク, オランダ, ポーランド, ポルトガル, スロバキア, スペイン, スウェーデン及びトルコを代表し, 発言する。我々は, 核兵器使用のもたらす壊滅的な人道的結末に関するステートメントを通じた16か国及びその他の支持国からなるグループによるこの会議への貢献を歓迎する。
- 2 2010年の核兵器不拡散条約(NPT)運用検討会議の最終文書に関わった全てのメンバー国によって支持されたように, 核兵器爆発による即時及び長期的にわたる破壊的な人道的影響は, 明らかな懸念である。これは, 今年初めにオスロで開催された「核兵器の人的影響に関する会議」でも改めて明らかにされた。
- 3 こうした懸念こそが, 「核兵器のない世界」という共通の目標を達成し維持するための我々の揺るぎないコミットメントを切迫感をもって再確認する理由である。
- 4 この目的を達成するためには, すべての国々によるハイレベルの政治的意思を必要とするが, その期待は核兵器を保有する国に最も重くのしかかっている。
- 5 この意思が, 2010年NPT行動計画の履行を含め, 効果的な軍縮のための実践的かつ継続的な努力を下支えすべきである。核兵器を保有する国が実質的かつ建設的な関与することなしに, そして核兵器に関する議論において安全保障と人道の両面について認識がなされることなしに核兵器を禁止することのみでは, 核兵器廃絶は保証されない。
- 6 この目的を達成するためには, 核兵器の使用を予防し, 核兵器の垂直及び水平的拡散を防止し, 核軍縮を実現するためにすべての国々が共に取り組む必要がある。これは, NPTの目的を実現すること及びNPTの普遍的な適用を達成することを含むものである。
- 7 我々は, すべての国々に対して, 軍縮と不拡散の目標を双方に強化することに貢献する実践的かつ効果的な措置に明確な焦点を当てる関連するあらゆるフォーラムに, 積極的かつ建設的に参加することを促す。
- 8 我々は, 我々すべてと将来の世代のために, 核兵器のない, より安全な将来を確保する最良の機会をもたらすため, 核軍縮と不拡散に関するあらゆる努力を強化することをコミットし続けなければならないと信じる。
- 9 我々は, 人道的問題に関するフォローアップ会議の開催に関するメキシコによる申し出を歓迎するとともに, すべての国々に参加するよう促す。